

たかはまこども園

今年度、公立幼稚園から「たかはまこども園」として社会福祉法人そらかぜに民間移管された。運営母体が変わり、幼稚園機能・保育園機能の充実に向け、保育時間の長時間化、未満児保育等より幅広い受け入れが可能となり、多様化する利用者のニーズに対応すべく保育を実施している。移管に際しては、子どもや保護者の不安解消に向け、市からの派遣を受けており、継続的で切れ目のない保育の工夫・職員確保等の人的配慮に努め、利用者が安心できる保育サービスに心掛けている。

また、新たに未満児棟・調理場棟が新設され、低年齢児室には暖かみのある無垢の杉板を床板等に使用し、裸足でもすべらず安全で快適に過ごせる環境や、机や椅子等、年齢の発達に応じて使いやすく整った作りになっている。調理棟では、調理の様子が見えるように前面がガラスになっており、排気口は調理臭が子どもに届くよう、食育を重視した自園給食ならではの数々の工夫がなされている。小学校と隣接しており、教育内容について職員間で共通理解をしながら連携を深めている。園の周りが商業地域で商店などの施設も多く、交流しやすく園児が社会体験しやすい環境にある。まちづくり協議会の協力により瓦作り体験（色塗り）や、和太鼓で表現活動・礼儀作法を学ぶ等、地域の関連機関とのかかわりはあるが、新型コロナウイルス感染予防を考慮し、運動会・夏祭り・作品展・小学校との交流は状況に応じて開催、近隣住民とのつながりは見合わせをしている状況が続いている。設立初年度と言うことで、今後様々な変容に期待がかかる。

事務仕事についても、少しでもその時間を子どもとの時間に使うために、パソコンを使用して書類の簡素化・記録の単純化に努め、ゆとりある職員の働き方の見直しを実施している。

中央保育園

高浜市の中央に位置しており、周りには住宅街に沿って稗田川が流れ、園外散策などで自然に触れやすい環境にある。

園内は清掃が行き届き、整理・整頓された環境が保たれており、室内では様々な種類のカードゲームや子ども達が興味・関心の持てる沢山の絵本や玩具が揃っており、どの子どもも夢中になって遊んでいる。時間差で設定した園庭には笑顔で元気に走り回る姿があり、やりたいことが実現出来ている喜びが園全体に感じられ活気がある。

乳児の指導計画は、育児担当制のもとエマージェントカリキュラムを取り入れ、子どもの言葉に耳を傾け、個々のありのままの生活実態・行動・内面等を図式化して押さえる事で、具体的援助が明確になり保育士同士の連携がしやすくなっている。三歳児のクラス編成では、集団経験の有無や月齢・発育等を考慮し、個々の育ちに依り組まれており、子ども達に負担の無い様にクラス運営を工夫している。

数ある研修の中、コロナ禍で計画されていた職員研修が実践出来なかった部分に関しては、新たに関係系列施設長を講師として研修を行うなど工夫し、職員の学びの場を大切に資質・保育技術の向上に努めている。また、ケース会議や学年会議なども定期的に行い充実している。支援の必要な子に関しては、毎月個別検討会を実施しており、加配担当者や専門家からの指導等も含め適切な援助に努め「ボールで遊ぼう会」を実施しながら、自由に遊べる時間を設ける等、個々を尊重した保育に心掛けている。

たかとりこども園

新設2年目。園の周りには畑や田んぼ等自然が多くあり、四季を感じることでできる保育環境にある。園庭が完成し、戸外では沢山の子ども達が遊ぶ中、いかに安全にスペースを作れるかを常に試行錯誤し、仕切りの工夫等の園庭活用の充実に向けている。園内のピオトープには近くを流れる川からは導かれるようにカメが入り込み、水辺を潤している。池に出来た氷を拾い集め、子ども同士群れながら交わす会話や動きの中には、多くの感動体験や自然からの学びがある。

園内については、多目的ホールが吹き抜けになっており、二階まで届く大型遊具が目玉。目を輝かせて遊ぶ子どもの姿が想像され、魅力的な遊び場の一つになっている。目につきやすい通路には、小動物と共にさりげなく図鑑が置かれ、絵本の部屋には落ち着いた見ることの出来るくつろぎのコーナーが設置され、好きな絵本を自由に手に取る事ができる。至る所で子ども達が絵本に親しみ創造意欲をかき立て、探究心や好奇心・思考力を引き出す環境作りに力を注いでいる。乳児・未満児の保育室は、広くゆったりとしたスペースが確保され、床暖房の整備で体温温存が出来、冬でも裸足でのびのび動き回れる衛生的で気持ちの良い保育環境となっている。また、専用の玄関から直接出入りできる事で、荷物の多い低年齢児の保護者の利便性が図られている。保健・安全・生活指導は、毎日日課の中にきちんと位置づけられ、広い園舎の隅々まで環境・安全整備に努め、事故などに供えその都度改善や工夫に努めている。

働き方改革の一環で、勤務時間管理の徹底を図っており、時間の範囲内で書類作成等が終了出来るよう、複数のパソコンを使って工夫した事務処理を心掛けることで、職員の負担軽減に努めている。

翼幼保園

高浜市の北東に位置し刈谷市に近く、周辺に新築の家の多い新興住宅地の中にある。しかし、自然も残っておりそれらに触れる機会に恵まれている。園舎はバリアフリーで中庭を囲むように部屋、廊下が配置され、子どもたちを見守りやすくレイアウトされている。園舎には、子育て支援センターや学童保育所も併設しており、幼児だけでなく小学生も受け入れ活気のある雰囲気を感じられる。職員も子ども一人ひとりと丁寧に向き合いゆったりとした構えで保育がされている。

園環境としては、広々とした園庭に加え、園の前に神明公園という広い空間もあり、戸外遊びとして利用でき園児の遊びの保障がされている。中庭テラスには、年齢の低い子どもも安心して遊べる環境を整備しており、その中に立ち砂場をつくり遊びに集中できるように工夫されている。園庭で遊んで部屋に戻る際、園児たちはアルコール消毒をしっかりとおり、感染症予防についての指導が徹底している様子が見受けられた。また、部屋の各所の消毒はもちろん、おもちゃの消毒も丁寧に行われている様子だった。保育室は、乳児クラスには床暖房を備え過ごしやすい環境を整えているほか、それぞれの部屋に年齢に即した手づくり玩具が配置されていた。そのほかに伝統的な玩具も配置されていた。給食の場面では、子ども同士距離を置いて食事をとる、食事中は話をしないなど、新型コロナウイルス感染症に対しても注意が払われている。

今年度は、コロナ禍のため様々な行事が従来通りできなかった。しかし、運動会を年齢ごとに開催し観客が密にならない工夫をしたり、乳児はビデオで日ごろの様子や成長発達を見せるなど園を挙げて努力していた。地域との関わりも深く、園内研修を充実させながらコロナ禍の中でも、子どもたちの最善の利益のために職員一同努力していると思われる。今年度の実践を踏まえ、さらなる保育の充実が実現されることが期待できる。